

mlterm

多言語対応端末エミュレータの mlterm では JIS X 0213 を扱うことができます。

エンコーディングとして、EUC-JISX0213、Shift_JISX0213、ISO-2022-JP-3 が利用可能となっています。

ダイアクリティカルマークの合成も可能です。

上は mlterm と w3m による表示例です。JIS X 0213 で符号位置の割り当てられた半濁点付きの仮名や、合成の必要な音声記号も表示できていることが見て取れます。